

第 798 回 例 会

31年3月1日

本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 河田 英子 会員 「心育て PART 18」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

次回(3月8日)のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 高野 幸雄 会員 「おもしろい古事記 PART 3」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

3月のお誕生日

3日 秋山 千尋 会員

28日 近藤 嘉一 名誉会員

先週(2月22日)の例会報告

■会長の時間

【同好会】

今年度の活動目標の一つとして同好会の新規立ち上げをしたいと思っていましたが、なかなか行動に移せませんでしたところ、年も変わって平成も今年限りと思いきや、何かしたいと思うようになってきました。先日改めて同好会の設立を呼びかけましたところ、麻雀、囲碁、ワインと3つの同好会設立の申出をいただきました。これから大いに盛り上げていただきたいと思います。

ここで、ロータリクラブにおける同好会について、他クラブの状況を見てみましたのでご報告いたします。まず感じましたのは、他クラブにおいては、活発に、そして多方面の同好会が結成されて活動しているのに驚かされました。

たとえば東京中央RCでは20の同好会があります。内容は、旅行、トレッキング、ゴルフ、釣り、観劇、水墨画、スキー、麻雀、囲碁、将棋、カラオケ、西とともに会、いのししの会、青年会、旨いもの会、カメラ、写経、スキューバダイビング、音楽を楽しむ会、モータースポーツ同好会、と続きます。また東京西RCでは、ゴルフ、スキー、一中節、釣り、やきもの、写真、俳句、歌舞伎の8つの同好会があり、それぞれの同好会の活動がホームページに一覧できるようになっています。そして、その説明の冒頭に「クラブライフのもう一つの楽しみは、同好の士が集まる各種同好会。」とある。私たちのクラブでも、クラブライフの楽しみの幅を広げるためにも皆さんの趣味の延長線上に同好会を作ってみませんか。

【来客紹介】 3名

【出席報告】

31年2月22日(第797回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
36名	0名	27名	9名	75%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 1)東日本大震災追悼イベントの案内(大阪うつRCより)

2)ガバナー補佐訪問 第2回クラブ協議会のご案内 3)次年度 理事・役員・委員会構成(案)

【メール送信】 1)「ゴルフ同好会」についてのお知らせ ⇒ 2/12 配信

ニコニコ箱(2月22日)

西口 宗弘(大阪アーバンRC) =IM5組の仲間に入れて頂き有難うございます。創立してまだ7年のクラブでございます。

これからも引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

秋山 千尋 =小生宅の庭の梅の花が今年は満開です。もう春も間近のようです。和氣会員の卓話、楽しみにしています。

福島 三雄 =和氣さんの久しぶりの卓話、楽しみです。

花谷 尚嗣 =映画「女王陛下のお気に入り」観てきました。熱演でした！

小林 知義 =来週3月1日はお休みさせていただきます。社内旅行でカンボジアに行つて来ます。斎藤さん、代役よろしくお願ひします。

森本 良嗣 =先日は歓迎会、お世話になりました。楽しかったです。今後共 宜しくお願ひします。

大屋 準一 =はやぶさⅡがリュウグウに着陸成功したようです。日本に「石」を持って帰る事を期待しています。葉の花の時期に良い便りです。

高野 幸雄 =又北海道で地震があった様です。他人事ではないですね。

龍岡 恵子 =①今日は私の時の幹事をつとめて下さった和氣さんの卓話です。とても楽しみにしております。

②はやぶさが「リュウグウ」に到着しましたね。

③最近の忘れ物の激しさに認知症の心配があり検査に行きました。結果は無事でしたが、呑みすぎによるフォアグラ状態の為、運動するようにと言われました。

辻田 知史 =先日の新入会員歓迎会は非常に盛り上がり、すごく楽しかったです。親睦委員の方々、ご苦労様でした。

当日はたのしくて少し飲み過ぎて、ちょっと粗相もしてかしてしまいました。はしゃぎ過ぎて、お前の歓迎会じゃないしとお叱りを受けそうです。以後 気をつけます。今後共、よろしくお願い致します。

和氣さん、卓話楽しみにしています。

【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 15000円

今年度合計 4561916円

卓話(2月22日)

「私のお仕事 Part 1」 和氣 勝海 会員

1. 栗本建設工業㈱のご紹介

1946年 栗本鐵工所創業者でもある栗本勇之助が復興産業㈱として設立。名前の通り戦後の大阪の町の復興に貢献したいとの思いが込められた会社です。以来73年、あらゆる用途の建物を作ってきました。

2. 個人的社歴

1979年入社、以来40年。最初は九州支店工事課へ赴任し工事課長に反抗。1年で九州支店工事課をクビになり大阪へ転勤。その後勤務地は東京、岡山と転々、業務も積算課、購買課、営業課、営業所長と転々。2003年会社の業績悪化に伴い営業所閉鎖、大阪本社へ単身赴任。その後開発営業部長～本店長～社長～会長と、あれよあれよと言う間に変わっていきました。

3. 最近やっている仕事はBCP対策

名古屋大学防災・減災博士の福和伸夫教授の講和を聞いて、「南海トラフ地震は必ず起こる」と痛感しました。大災害が起こったとき、一刻も早く通常の業務が出来るようにすることは、自社のためだけではなく、日本の経済のためにも大変重要であるとの思いからその体制作り励んでいます。 ※福和伸夫教授著「次の震災について本当のことを話してみよう」

南海トラフ地震と時代の変遷

1605年 慶長地震(M7. 9)

1707年 宝永地震(M8. 6)・・・富士山噴火

1854年 安政地震(M8. 4)・・・徳川幕府崩壊明治維新へと

1944年 東南海地震(M7. 9)・・・軍需工場被災、第二次大戦終戦へと

1946年 南海地震(M8. 0)・・・戦後の日本の復興に大きな打撃

その後地震のない45年間に日本は奇跡の高度経済成長成し遂げる。

今では南海トラフに面して、豆腐のような地盤に大都市が作られ、メインの交通インフラ、重要工場、石油タンク、輸出入拠点、などが集中しています。これらが一度に被災すれば日本の経済活動に大きな打撃となることは容易に想像されます。

4. もう一つの弊社の課題は働き方改革

建設業の多くの現場担当者の現状は、年間休日日数70日、年間残業時間1000時間ほどで働いています。今回の労働基準法改正により週休2日の下、年間残業時間最大720時間、有給取得5日以上となります。

勿論、自ら生産性を向上させこれらを実現していかなければなりません、法規制や責任上の観点から、現場を閉所しなければ責任者は休めません。そのためには工期の延長やコストの増加について社会的理解が必要となります。

建設業会からのお願いです。働き方改革による工期延長とコストの増加にどうぞご理解を！

大阪ユニバーサルシティRC

URL: <http://www.osaka-ucrc.org/>

E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org

創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか